

協同組合の未来を考えるシンポジュームの開催

2015年3月

協同組合の未来を考える会

趣 旨

1980年代レーガン・サッチャー・中曽根首相は、新自由主義を標榜し福祉、教育を切り捨て、民間企業による利益を優先する社会の在り方を形づくりました。その結果、わが国では国鉄が民営化され、赤字病院は廃止、若者を中心とした非正規労働者の増大が顕著になっています。

また、官邸から提起された農協改革は、全国農協中央会（JA全中）の組織体制について、農協法に基づく組織から一般社団法人への転換と地域農協への監査権限の撤廃などの方向が打ち出されました。今後さらにJA全農の株式会社化やJAからの信・共済事業の分離。あるいは、農業委員会組織の見直しなど更なる規制改革攻撃が始まります。

これは協同組合や生活協同組合等の既存組織制度を廃止し、すべての組織を株式化するさらなる新自由主義の進化を示します。

こうした中で、韓国から前盧武鉉大統領秘書官の鄭泰仁（チョン・テイン）氏をお招きし、ソウル市における協同組合の設立運動に関する講演を聴き且つ協同組合運動の意義についての「シンポジューム」を開催し、協同組合の重要性の理解を深めます。

記

1 主 催

「協同組合の未来を考える会」（呼びかけ人・賛同者で構成）

2 協賛団体

- ・新潟県農協組合長会
- ・新潟県協同組合間提携推進協議会
- 〔 J A新潟中央会、県生協連、県森連、県漁連、新潟漁協、県酪連
J Aバンク新潟県信連、J A全農にいがた、J A共済連新潟 〕
- ・新潟県農業会議
- ・新潟県農業共済組合連合会
- ・新潟県土改改良事業団体連合会
- ・新潟大学

3 開催時期

2015年5月31日(日) 午後1時～4時

4 場 所

新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学五十嵐キャンパス
新潟大学附属中央図書館ライブラリーホール

5 内 容

① 基調講演

鄭泰仁(チョン・テイン)様
前盧武鉉大統領秘書官

講演テーマ

「新自由主義と協同組合」 ソウル市における協同組合設立運動
(講演は1時間通訳込(事前に内容を日本語訳))

② 対談・質疑 (対談1時間、質疑1時間)

鄭泰仁様&村松二郎様(県森連会長・県会議員)、今井長司様(JA新潟中央会副会長)

コーディネータ 新潟大学農学部 伊藤亮司 様

6 参集範囲

- ・農協・生協・漁協・森林組合組関係者・農業会議・農業共済・土地改良
- ・労働者、一般消費者等 150名～200名程度

* 参加費 1,000円

(参加申し込み等問い合わせ先)

- ・堀井 修 携帯 090-1853-4974
- ・重野徳夫 携帯 090-2730-2025

「呼びかけ人・賛同者」(順不同)

青柳斉(元新潟大学教授)・粟生田忠雄(新潟大学農学部助教)・伊藤亮司(新潟大学農学部助教)・高橋豊(農協組合長会会長・JA新潟みらい組合長)・吉田茂(協同組合間提携協委員長・JA新潟中央会専務)・長崎清一(協同組合間提携協副委員長・生協連専務)・桜井敬作(農業会議事務局長)・小林斌(元JA新潟経済連参事)・富岡雅夫(JAささかみ監事)・山中景子(いのちの電話後援会事務局長)・里村洋子(エッセイスト)・佐藤順子(連合新潟アドバイザー)・金哲沫(日本農業新聞報道部記者)・斉藤悦男(自治労新潟県本部委員長)・間英輔(全農林新潟分会委員長)・堀井修(新潟百姓勝手連代表)・重野徳夫(農政ジャーナリストの会)